

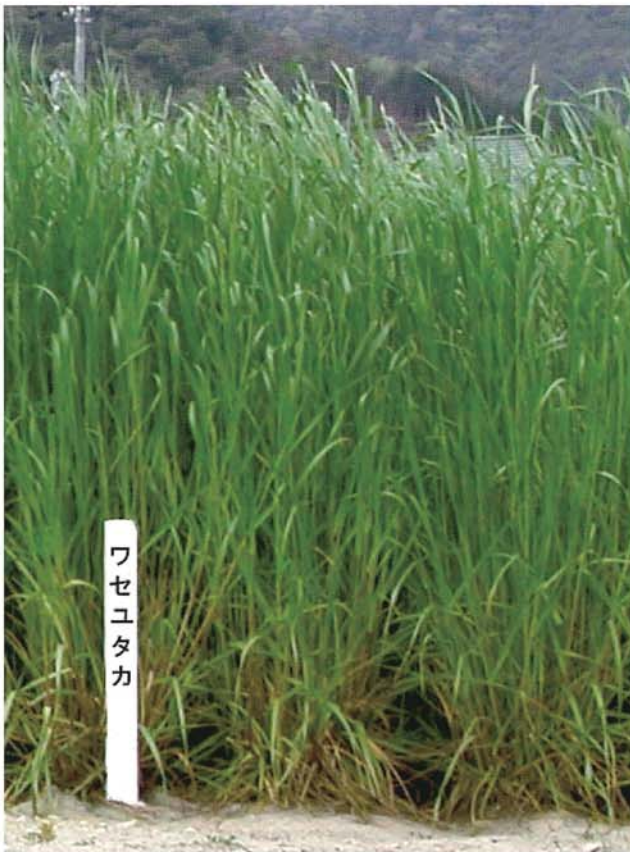
古い品種ですが栽培者が多い イタリアンライグラス

早生品種 「ワセユタカ」 2倍体

低温期から生育が優れる安定多収な品種

主な特長

- 春1番草が極めて多収な早生品種です。
- 秋から早春の生育が旺盛なため、暖地では年内草も多収です。
- 晩生種に比べて残根量が少ないため、後作への影響が小さい品種です。



○栽培者が多い理由は

1. 生育の早さと茎数が多く、収穫適期に幅があることです。
2. 年次による収量の変化が少ないことです。

○栽培適地

- 関東から九州までの広い地域

○播種量

- 秋播き：3.0～4.0kg/10a
- 遅播きや春播きは5割増しとする。

○特長を生かした栽培利用

○関東以西の平坦部に適します。

特に冬季温暖な西南暖地に最適です。

○再生力は晩生品種よりやや劣ることから、春2番草までの2回収穫体系が有利です。

○春2番草が6月までに収穫できるため、晩期水稻や夏作飼料作物との組み合わせに適しています。

○低温期の生育が旺盛なため、年内の青刈利用にも適します。

	10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
標準播 栽培	◎	~	~	◎																										
										× ~ ~ ×									—			× ~ ~ ×					× ~ ~ ×		
										春1番草									春2番草						春3番草					

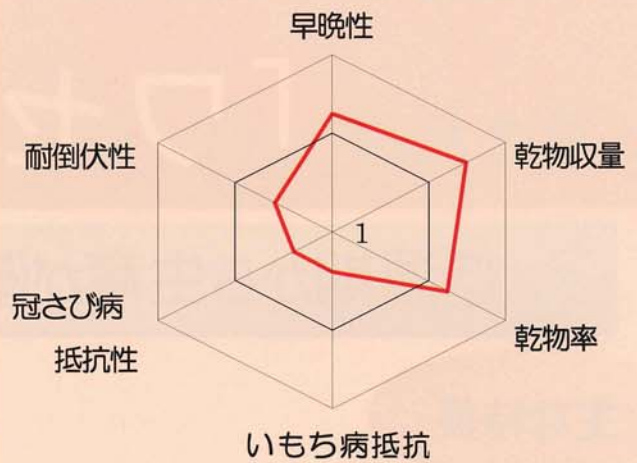
○栽培上の留意点

- 苗立枯症及びいもち病の抵抗性は強くないので、9月上旬以前の早播きは避けて下さい。
- 関東以西の寒さの厳しい地域の9月播きで、年内収穫しない場合は、寒害を受け易くなります。また、10月下旬以降の遅まきで減収することもあります。適期播種を心がけて下さい。
- 過繁茂になると倒伏しやすいので、肥料を調整するとともに、刈り遅れないよう注意して下さい。

【育成機関】

問い合わせ先： 山口県農林総合技術センター
 畜産技術部 放牧環境研究室 飼料・環境グループ
 TEL:0837-52-0258 FAX:0837-52-4832

ワセユタカの特性



早晩性：1（遅）～9（早）、乾物収量：1（少）～9（多）
 乾物率：1（低）～9（高）、耐倒伏性：1（弱）～9（強）
 冠さび病抵抗性、いもち病抵抗性：1（弱）～9（強）